

参議院議員
になって1年

あわせて32回の国会質問で 国民の声を届けてきました

固定残業代制

例えば…



**ブラック企業の手口
是正へ厚労省を動かす**

「異常な長時間労働の強制と賃金の不払い、ブラック企業の手口のひとつに固定残業代制があります」「企業の募集要項をみただけではそれがわからないことが被害を拡大させている」。参議院予算委員会に吉良議

通達をだしました。
虚偽や誇大な求人広告を掲載しないよう業界団体に



参院予算委員会でブラック企業を追及 14年3月11日

会で5回、今年の通常国会で27回の質問にのぞみました。参議院本会議や予算委員会での質問も経験しました。「ブラック企業ゼロ」「原発再稼働許さない」「憲法守れ」と選挙で訴えた公約を政府にぶつけることができました。国民の声を届ける一步を踏み出したと思っています。國民の声が届く政治へ、これからもがんばってまいります。

日本共産党参議院議員 吉良よし子

昨年夏、参議院に送り出していただき、昨秋の臨時国会で5回、今年の通常国会で27回の質問にのぞみました。参議院本会議や予算委員会での質問も経験しました。「ブラック企業ゼロ」「原発再稼働許さない」「憲法守れ」と選挙で訴えた公約を政府にぶつけることができました。国民の声を届ける一步を踏み出したと思っています。國民の声が届く政治へ、これからもがんばってまいります。

働く現場の声を質問に

働く人の生活と権利を守る

吉良よし子議員は職場の実態を調査、まともな働き方ができる政治を求めてきました。おもなものを紹介します。(以下総務委員会)

非正規そのまま、正社員を低賃金に 郵政で始まった「新一般職」の問題をつく

郵政版の限定正社員制度として始まった新一般職。非正規が4割の構成を変えないで、非正規から新一般職になても「8万円給料が下がった」という実例を紹介し、吉良議員は「正社員に低賃金を押しつける」制度と告発。「政府が株式を保有する最大の企業がブラック化してはならない」と厳しく指摘しました。

消費生活相談員は非正規職員 女性自治体職員の地位の抜本的改善を

女性を管理職に登用する(安倍首相)。地方でも専門的職種である消費生活相談員ですら75%が非常勤という実態を示して吉良議員は「女性の多くが非正規では管理職登用などすむはずはない」と非正規の解消を強く求めました。

総務委員会での初質問 都道府県の労働相談の拡充に力つくせ

8回

初質問にたった吉良議員は、ブラック企業の実態を示し、働く人の相談窓口となる都道府県の労政事務所が総務省がすすめる集中改革プランで統廃合されると追及。「働く人の権利と雇用を守る体制を」と求めました。



総務委員会で初質問(13年11月5日)

事務連絡 平成26年3月14日

公益社団法人 全国求人情報協会 理事長 丹澤直紀 殿

厚生労働省職業安定局派遣・有期労働対策部 需給調整事業課長 富田 望

求人受理時における求人内容の適正な対応について(依頼)

需給調整事業関係業務の適切な運営にご尽力いただき、感謝申し上げます。

さて、職業紹介事業者、労働者の募集を行う者、募集受託者及び労働者供給事業者等については、「職業紹介事業者、労働者の募集を行う者、募集受託者、労働者供給事業者等が均等待遇、労働条件等の明示、求職者等の個人情報の取扱い、職業紹介事業者の責務、募集内容の的確な表示等に関する適切に対処するための指針」に基づき、求職者等に対し労働条件を明示するに当たっては「明示する労働条件等は、虚偽又は誇大な内容としないこと。」「求職者等に具体的に理解されるものとなるよう、労働条件等の水準、範囲等を可能な限り限定すること。」「賃金に関しては、賃金形態(月給、日給、時給等の区分)、基本給、定額的に支払われる手当、通勤手当、昇給に関する事項等について明示すること。」に配慮することと定められています。

一方、国会において「労働者の募集等に当たっては、基本給と固定残業代を分けて表示すべきではないか」と指摘があり、ある求人において「基本給と固定残業代を合算した額をべきではないか。」と問題視されていました。

一方、国会において「労働者の募集等に当たっては、基本給と固定残業代を合算した額をべきではないか。」と指摘があり、ある求人において「基本給と固定残業代を合算した額をべきではないか。」と問題視されていました。

吉良議員の質問内容が書きこまれました。